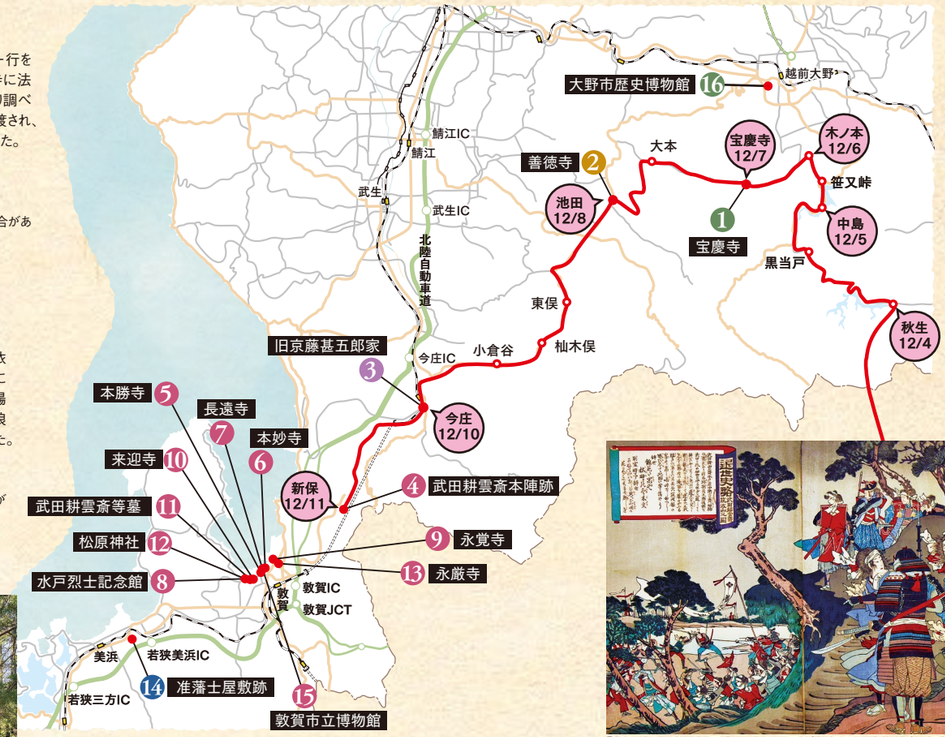
幕末の悲劇
天狗党敦賀に散る。

一八六四年、水戸天狗党は藤田小四郎らを中心に筑波山で挙兵した。京にいる一橋慶喜を頼り、朝廷に尊王攘夷を訴えようと約千名が行軍。敦賀にたどり着き、首領の武田耕雲斎、藤田小四郎らはそこで処刑された。敦賀をはじめとする福井県内の各地に残された彼らの足跡を巡り、その志に思いをはせよう。



『近世史略 武田耕雲斎筑波山之図』（敦賀郷土博物館（八幡神社）所蔵）

天狗党資料が所蔵されている博物館

敦賀市

※他の企画展の予定により常設展示をしていない時期もありますのでご注意ください。

15 敦賀市立博物館

旧大和田銀行の建物を活用して設置された博物館。昭和初期の銀行建築を鑑賞でき、国際港敦賀を象徴する建造物として国の重要文化財に指定されている。天狗党に関する資料が常設展示されている。

◆ 敦賀市相生町7-8 ☎0770-25-7033

16 大野市歴史博物館

美濃から越前に進んだ天狗党は当時鯖江藩領だった木本の杉本家で休息。もてなしに感謝した天狗党は出立時に二幅の地図を残した。博物館にこの古地図の複製が保存されており、関東から九州までが精密に描かれている。

◆ 大野市天神町2-4 ☎0779-65-5520

大野市

伝藤田小四郎所用陣羽織
個人蔵（大野市博物館寄託）

藤田小四郎が所有し、越前滞在中に池田町の寺院に遺したものと伝わる。後の縁故により大野藩家老田村又左衛門家が所有することになった。

敦賀市

6 本妙寺

加賀藩へ降伏した天狗党一行が収容された寺院のひとつ。耕雲斎の次男である武田魁介ら346名が収容された。本寺に収容された浪士も、のちに過酷な扱いを受けることとなった。

◆ 敦賀市元町13-12
☎0770-22-5403
＊お問い合わせ等に対応できない場合がありますのでご了承ください。

敦賀市

5 本勝寺

加賀藩に降伏した天狗党一行が収容された寺院のひとつ。耕雲斎や小四郎らをはじめ、387名が預けられた。境内には現在、「武田伊賀守耕雲斎以下水戸烈士幽居之寺」と刻まれた石碑が建てられている。

◆ 敦賀市元町19-21
☎0770-22-3494
＊お問い合わせ等に対応できない場合がありますのでご了承ください。

敦賀市

7 長遠寺（じょうおんじ）

本勝寺や本妙寺とともに、加賀藩へ降伏した天狗党一行が収容された寺院。90名の浪士が身を寄せたといわれている。他の浪士と同様、のちに敦賀舟町の蔵に拘禁される。

◆ 敦賀市元町18-25
☎0770-22-5475
＊お問い合わせ等に対応できない場合がありますのでご了承ください。寺院内見学希望の方は事前にご連絡ください。

敦賀市

4 武田耕雲斎本陣跡（新保陣屋）

1864（元治元）年12月、木ノ芽峠を越え新保村（敦賀市新保）に到着した天狗党は、幕府軍に包囲され、葉原村（敦賀市葉原）に布陣していた政府軍先鋒の加賀藩と対峙する。武田耕雲斎は当時問屋を営んでいた塚谷家の屋敷に本陣を置き、加賀藩から派遣された使者との交渉の場として利用した。加賀藩との戦闘を望まなかった天狗党は、この屋敷で交渉を重ねた結果、降伏することを決めた。

◆ 敦賀市新保
☎0770-22-8152（敦賀市教育委員会事務局文化振興課）

南越前町

3 旧京藤甚五郎家住宅

池田から今庄宿に入った天狗党一行が滞在した民家のひとつ。今庄宿では、天狗党が到着すると村が焼き払われるという噂が流れており、一行がたどり着いた時には無人となっていた。京藤甚五郎家を含む周辺の民家には、自分たちの境遇に苛立った浪士が斬りつけた傷が柱などに残っている。酒屋であった当家の酒を使い、浪士が風呂を沸かしたという逸話も伝わる。

◆ 南越前町今庄68-35
☎0778-47-8005（南越前町教育委員会）

池田町

2 善徳寺

1864（元治元）年12月、京都を目指す途上で大野を経て、池田にたどり着いた天狗党の一行が宿営した寺院。およそ30名が滞在したと伝わる。宿泊した翌日、2名の浪士が善徳寺の住職に自らの髻（もとどり・たぶさ：髪を頭上で束ねたもの）を切って渡し、「今日を命日として菩提を弔って欲しい」と頼み、住職は願い通り、寺院の裏山に墓を建て弔ったという。住職に渡された髻は、今も寺に残る。

◆ 池田町谷口36-20 ☎0778-44-6615

大野市

1 宝慶寺（ほうきょうじ）

道元禅師を慕い来日した中国の僧が開いた、大本山永平寺に次ぐ曹洞宗第二道場の寺院。天狗党一行が池田方面に向かう際、寺院の名を冠した「宝慶寺峠（普門坂）」を通過して進軍した。

◆ 大野市宝慶寺1-1
☎0779-65-8833

敦賀市

8 水戸烈士記念館（旧鯡蔵）

加賀藩による寺院への収容の後、幕府が天狗党一行823名を監禁した鯡蔵のひとつ。敦賀市内に唯一残る近世期の敦賀港で使われた倉庫である。2020年に市指定文化財となった。

※2021年中に解体調査予定
◆ 敦賀市松原町2　☎0770-22-8152
（敦賀市教育委員会事務局文化振興課）

敦賀市

9 永覚寺

鯡蔵での過酷な環境で天狗党一行を拘束したあと、幕府はこの永覚寺に法廷（仮白洲）を設置し、簡易な取り調べを行った。353名に斬首が言い渡され、およそ470名が追放などに処された。

◆ 敦賀市金ヶ崎町2-31
☎0770-22-8128
（敦賀市観光部観光交流課）
＊お問い合わせ等に対応できない場合がありますのでご了承ください。

敦賀市

10 来迎寺（らいごうじ）

戦国時代には大谷吉継からの帰依を受けた寺院。この来迎寺の西側に位置する「来迎寺野」と呼ばれる場所で、武田耕雲斎をはじめとする浪士353名が幕府によって処刑された。

◆ 敦賀市松島町2丁目5-32
☎0770-22-0654
＊お問い合わせ等に対応できない場合がありますのでご了承ください。

敦賀市

11 武田耕雲斎等墓

敦賀市松島町、松原神社の近くにある墳墓。武田耕雲斎をはじめとした幹部24名をはじめ、幕府が下した斬首刑により敦賀で命を落とした353名の名前が墓石に刻まれている。さらに、行軍中に討ち死にした21名、病死した31名の天狗党一行の名前も残っている。1934（昭和9）年には、国の史跡に指定された。墳墓のすぐそばには、1978（昭和53）年につくられた武田耕雲斎の銅像が立つ。1887（明治17）年、渋沢栄一が第一国立銀行頭取として視察途中に敦賀に投宿し、水戸天狗党の埋葬地にも訪れている。また1914（大正3）年の墓改修時には「渋沢男爵家」として金20円を寄附している。

◆ 敦賀市松島町2丁目9　☎0770-22-8152
（敦賀市教育委員会事務局文化振興課）

敦賀市

12 松原神社

1875（明治8）年に、武田耕雲斎ら411柱の浪士を祀るために創建された神社。当初社殿は建っていなかったが、1898（明治31）年に社殿が完成し、1915（大正4）年に現在の場所に移転された。境内には浪士が監禁された鯡蔵のひとつが移築され、水戸烈士記念館として天狗党の悲劇を現代に伝える。

◆ 敦賀市松原町2
☎0770-22-8152
（敦賀市教育委員会事務局文化振興課）

松原神社境内の一角にある梅の木。天狗党にちなんで姉妹都市の水戸市より献木された

敦賀市

13 永厳寺（ようごんじ）

1413（応永20）年に創建。天狗党には少年たちが同行しており、この少年らの行く末を不憫に思った住職が奉行所に申し入れ、十数名（一説によると11名）を仏弟子として引き取った。

◆敦賀市金ヶ崎町15-21 ☎0770-22-1535
＊お問い合わせ等に対応できない場合がありますのでご了承ください。

美浜町

14 准藩士屋敷跡

斬首を免れた浪士の住まいとなった屋敷跡。遠島処分となった浪士は敦賀での謹慎後、小浜藩に預けられ、藩は彼らに准藩士の身分を与えてこの屋敷に移した。近くの徳賞寺には3名の浪士が葬られている。

◆ 美浜町佐柿23-8
☎0770-32-0050（若狭国吉城歴史資料館）